

行政評価シート(事後評価)

コード 5-2-13	事務事業名 ケアプラン評価支援事業	所管部課 福祉部高齢者支援課
---------------	----------------------	-------------------

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	介護保険の要である介護支援専門員の質の向上・標準化により、介護給付費の適正化を図り、安定的な介護保険運営を目指す。	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等 / 補助の概要: 補助団体の概要 (団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要 (国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額) 等	
	介護支援専門員の行うケアマネジメントの現状を把握し、評価し課題を分析する。 医療・福祉・保健の専門家により介護支援専門員などに向けた研修・勉強会を効果的に計画実施し、年度ごとに評価をする。 より良いケアマネジメントをするための環境づくりとして、多職種の連携・ネットワークの構築・サービス資源の充実を支援する。	
事業開始時期	17 年度	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目	単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	事業費(A)			326	400	761
財源	国庫支出金・都支出金	千円		254	154	135
	地方債					
内訳	その他 ()					
	一般財源		326	146	607	534
所要人員(B)	人		0.39	0.45	0.36	0.49
人件費(C)=平均給与×(B)	千円		3,192	3,672	2,938	3,999
臨時職員等賃金(C')	千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円		3,518	4,072	3,699	4,668
単位当たりコスト(E)=(D)/()	千円		293	291	370	259
	(個別評価会議・研修・勉強会の開催回数)					

評価指標の設定	活動等指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	個別評価会議の開催回数	実績値	回	6	6	4	12
研修・勉強会の開催回数	実績値	回	6	8	6	6	
(指標の説明・数値変化の理由 など) 介護支援専門員個々の力量や課題などについて把握できる機会となる評価会議の開催回数 現状の課題分析から計画された研修及び勉強会、交流会(介護支援専門員、サービス提供事業者対象)の開催回数。平成19年度の個別評価会議の回数減については担当係の異動に關係する。							
	成果指標		単位	17年度	18年度	19年度	20年度
	1 回の平均受講者数	目標値	人	85	85	85	85
実績値		人	85	85	85	85	
2 次	目標値						
	実績値						
(指標の説明・数値変化の理由 など) 居宅介護支援事業者は市内に33か所あり、1事業所に2～3人のケアマネが所属していることを鑑みると、おおよそ85人が市内全部のケアマネの人数に値すると考えられる。							

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	利用者からの苦情の多かった課題につき勉強会を計画的に行ったところ、苦情が激減した。毎回のアンケート結果では勉強会を受けた介護支援専門員からは、このような勉強会や交流会に期待しているとの意見があった。訪問介護の利用者満足度調査を学識経験者と共同に行っている。その評価ががんばっている事業者のモチベーションを上げている。
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input checked="" type="checkbox"/> 上 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 一つの市ではケアマネの研修センターとして委託で行っているが、ほとんどの自治体ではケアマネの連絡会や講演会といった形で回数も少なく、PDCAサイクルでは行われていない。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 自己研鑽的な研修、講演会など多数はある。有料で個々の自由にまかされる

コード 5-2-13	事務事業名 ケアプラン評価支援事業	所管部課 福祉部高齢者支援課
---------------	----------------------	-------------------

【一次評価】

検証項目	ランク		一次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>国からも介護給付費の適正化として重点課題に挙げられている。サービスの質の向上であり、行うのは「人」であるため、教育的な観点から短期ではなく長期的な計画実施により10年後くらい先の将来に向けて今から少しずつ積み上げていく必要がある。</p> <p>事業主体は介護保険者としての市が担うことは妥当。しかし、専門性を要求される事業なので、担当の係は事務職員のみでは困難。将来的に体系を構築できれば、研修部門は事業者委託を考えられる。</p> <p>内容については年度ごとに見直しをしている。特に評価会議の方法については見直しを予定。さらに勉強会の実施についても経験年数別に行うなどの差別化は必要となっている。</p> <p>市民ニーズの把握については訪問介護の利用者満足度調査を学識経験者と共同実施しており、細やかな分析が行われている。その結果、質の高い訪問介護事業所のモチベーションを上げられると考える。</p>
事業の必要性	3			
事業主体の妥当性	3			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	2			
市民ニーズの把握	3			

【二次評価】

検証項目	ランク		二次評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
事業の優先度(緊急性)	2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>ケアプラン評価支援事業は、介護支援専門員の質の向上・標準化により、介護給付費の適正化を図ることを目的とした事業であり、介護保険者として市が担う必要性はあるものとする。</p> <p>また、事業の実施に伴い、年間を通して専門家による評価会議やサービス提供事業者等を対象とした研修会、交流会などを開催することで、この間、介護サービス利用者からの苦情が減少するなど一定の事業効果はでている。</p> <p>当該事業は、専門性を要求される事業であることを考えると、現在、市の職員(ケアマネジメントリーダー)2名が担当してはいるが、今後は、研修会の専門の事業者等への委託なども検討し、引き続き介護給付費の適正化につなげていく必要があると考える。</p>
事業の必要性	2			
事業主体の妥当性	2			
直接のサービスの相手方	2			
事業内容等の適切さ	2			
受益者負担の適切さ	3			
市民ニーズの把握	3			

【行革本部評価】

行革本部評価	判断理由及び事業を行う上での課題や、今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>介護支援専門員の質の向上・標準化を目指す本事業は、介護給付費の適正化に寄与するものであり、保険者である市が実施すべきものと考えられる。これまで、専門家による評価会議や介護支援専門員向けの研修、事業者間の交流会などを実施してきたが、介護サービス利用者からの苦情が減少するなど、一定の成果がみられる。今後は、専門的な業者への研修業務委託など、より効果の高い事業実施方法等について調査研究を行いたい。</p>